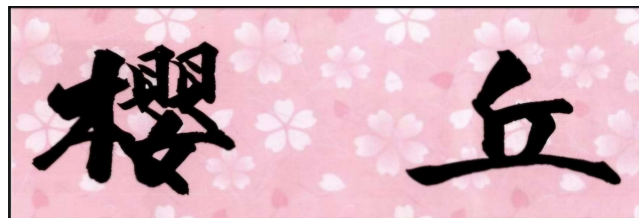


富士宮東高等学校

PTA 新聞



2026年 8月 第61号

発行責任者 PTA 会長 田邊 道紀

編集 研修委員会

富士宮市 小泉1234番地 (TEL0544-26-4177)

題字 元校長 堀内 正文氏

創立120周年を迎えて ―「桜丘」の志を未来へつなぐ―



富士宮東高校 校長 鈴木 香

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動に対し、温かいご理解と多大なるご支援を賜り、心より感謝申し上げます。今年度、本校は創立120周年という大きな節目を迎えました。この記念すべき年に、皆様と共に生徒たちの成長を見守ることができることを、大変嬉しく、また身の引き締まる思いでおります。

本校の歩みは、明治34年(1901年)に、女子教育の立ち遅れを痛感した佐野かね氏が、神田川の上流に「私立大宮裁縫女学校」を設立したことに始まります。その後、明治39年9月に「大宮町立女子技芸学校」として開校しました。明治44年(1911年)12月には「大宮町立実科高等女学校」として正式に認可され、翌年に開校式が挙行されたことが、現在の富士宮東高校としての歴史の本格的な始動となりました。120年という長い年月をかけて、本校は地域に根差し、時代が求める「豊かな心」を育んできたのです。

本校を象徴する言葉として親しまれている「桜丘(おうきゅう)」という名称には、本校の原点ともいえる深い由来があります。創立当初、本校は富士山本宮浅間大社の社家町に位置しており、その周辺が古くから「大宮町桜ヶ丘」と呼ばれていました。また、最初の仮校舎は浅間大社境内にある建物を使用しており、生徒たちは湧玉池から流れる清流と桜に囲まれた環境の中で学び、純粋な校風を育みました。浅間大社の祭神である木花之佐久夜毘売命(このはなのさくやひめのみこと)と桜の花との縁もあり、この「桜丘」という名は、本校が大切にしてきた気高く清らかな精神の象徴として、今もなお受け継がれているのです。

現在、本校は普通科(普通コース・アートコース)と福祉科を擁し、「豊かな心が、未来を動かす」をスローガンに、生徒一人ひとりの可能性を広げる教育を推進しています。昨年度からは新校舎の使用が開始されました。明るく快適な学習環境が整い、同窓会の「桜丘会」からは、生徒が憩う生徒ホールのソファや中庭のベンチ等をご寄贈いただくなど、伝統の絆に支えられた新たな学び舎で、宮東生は生き生きと学校生活を送っています。

今年度、本校が特に力を注いでいるのが、「非認知能力」を高める教育活動です。現代社会を生き抜くためには、学力試験で測れる力だけでなく、数値化しにくい心のスキルが重要です。本校では、普通コースでの「探究力」や「確かな学力」、アートコースでの「表現力」や「主体的な行動力」、そして福祉科での「傾聴力」や「協働力」といった力を、日々の学びの中で有機的に結びつけています。

さらに、自分自身を律する「自己管理能力」や、他者に寄り添う「共感力」を磨くことで、生徒一人ひとりが「未来を拓く宮東力」を身に付けることを目指しています。高校生活の中での失敗を恐れない挑戦や、仲間と協力して一つのことを成し遂げる経験こそが、これらの能力を育む土壌となります。私たちは、生徒が自分の可能性に気づき、自らの意思で未来を選び取っていけるよう、全力で後押ししてまいります。

こうした教育活動を実現するためには、学校とご家庭が同じ方向を向いて生徒を見守ることが欠かせません。ご家庭での温かな声かけや支えは、学校では補いきれない何よりの力となります。PTA活動は、保護者の皆様と教員が力を合わせて子どもたちの健やかな成長を図るための、非常に重要なネットワークです。活動を通じて保護者同士がつながり、子どもたちを「みんなで育てる」感覚を共有していくことには、大きな意義があると考えております。

最後になりますが、PTA活動への多大なるご協力に改めて感謝申し上げますとともに、今後とも本校の教育への変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。120年の歴史を胸に、生徒たちが自信を持って未来へ羽ばたけるよう、教職員一同、一丸となって取り組んでまいります。ぜひ、お気軽に学校へ足をお運びいただき、生徒たちの躍動する姿をご覧くださいれば幸いです。

あいさつ

PTA会長 田邊道紀



みなさま、日頃からPTA活動にご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。

まず、本題に入る前に私の自己紹介をさせていただきます。

私は昭和57年4月から昭和61年3月まで富士宮東高校に在籍しておりました。在学中は、生徒会長を3期(1年半)務めさせていただきました。

このたびはPTA会長という重責を担うことになり、4年間の地区役員や副会長の経験を基に母校である東高校に恩返しをする覚悟で一生懸命務めさせていただきます。

保護者のみなさまや学校関係のみなさまにはコロナ禍を乗り越え、ようやく平常に戻りつつある中、今度は学校再編の荒波の中へと既に足を踏み入れています。

昨年(2025年1月1日付)の富士宮市出生数は542人となっており、小・中学校でも児童・生徒の減少が進み、クラス減少に伴い教員数の縮小が行われています。このような中でPTAの役割も変化しなければならないと私は考えています。

先日、PTA東海地区愛知大会の講演で、『みんなの学校』が教えてくれたこと」の著者木村泰子氏が「学校は「土」先生は「風」、「風」はいなくなるが「土」は残るのです。その「土」を耕せば良いものができるのです。子供や保護者が「土」を耕すことで学校は良くなるのです。PTAは「やらされるもの」だと思うから嫌になるのです。それを「やりたい」「やろうぜ」に変えるだけでその姿を見た子供たちは楽しくなるのです。そんな学校の空気を作ってきました。」と講演されました。

いま私たちがやるべきことは、生徒たちにとって「この学校に入学してよかった」「母校でよかった」と思えるような、楽しい学校生活を過ごさせることが大事であると思います。そのためには先生と生徒と保護者が三位一体となって協力し合い、この荒波を乗り越えていかなければなりません。

東高校は今年120周年を迎えました。卒業生も2万人を超えています。そんな歴史ある学校を今後も守るためにPTAのみなさまのご理解ご協力を賜りたいと思います。私もみなさまからのご意見ご要望を伺いながら、今年1年頑張りますので何卒よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、みなさまには入学式の際にPTAと後援会へ入会していただき、誠にありがとうございました。おかげさまで毎年のPTA会費と後援会会費により、生徒の模試や進路関係書類、学校のピアノ調律、樹木剪定、そして、マイクロバスの維持管理費などに充当することができ、現在も生徒や学校のために適切かつ大切に使わせていただいております。

PTA活動の一環としてご理解ご協力を賜りましたことに改めて御礼申し上げます。

誠にありがとうございました。

令和8年度 PTA事業計画

令和8年

4月 7日	入学式・新1年生地区委員選出地区会
5月20日	PTA総会
5月29日～30日	桜丘祭 文化の部
6月 2日	静岡県公立高等学校PTA連合会
6月 5日	合同体育祭
6月17日	東海地区高等学校PTA連合会
7月中旬	PTA新聞「桜丘」第61号発行
8月20日～21日	全国高等学校PTA連合大会
9月 1日	PTA交通安全朝の挨拶運動
9月18日	富士地区高等学校等PTA指導者研修会
10月中旬	PTA夜間巡視

令和9年

2月下旬	PTA新聞「桜丘」第62号発行
3月 1日	卒業式

4月7日 入学式の様子



文化祭 5月29日 校内発表の様子



文化祭 5月30日 3年生 全組 焼きそば祭り



文化祭 5月30日 美術部・アートコース・福祉科・箏曲部



文化祭 5月30日 校内の様子



富士宮 United Sports Festival

6月5日(金)

富士宮東・富岳館・富士宮北・富士特別支援学校富士宮分校の4校



体育祭



富士宮東高等学校 インスタ紹介 QRコード



@MIYATO_H

紹介している写真はインスタより抜粋しております。
学校の様子を詳しく知りたい方は、是非、富士宮東高等学校の登録
お願いいたします。

